

高1年1組

科目	内容	評価の仕方
国語総合（現代文）	作品を通して国語や言語文化に関心を高め、感じたり理解するとともに、筋道を立てて自分の考えを深めたりする。	期末・中間試験 4 割 平常点 2 割（授業態度・提出物・豆テストで算出）
国語総合（古典）	古典作品を通して、古典独特の言葉や表現に慣れ、当時の人々が伝えたい話を理解する。さらに当時の人々の気持ちや社会の在り方を知り、現代の私達に生かしていく。	期末・中間試験 4 割 平常点 2 割（授業態度・提出物・豆テストで算出）
現代社会	○この授業のあと 2～3 年では歴史と倫理を履修するだけの生徒たちに、主権者としての責任と自覚をもって社会を担っていく主体となることができるよう、現代の国内外の社会に関する基本的な知識と興味関心を養う。 ○大学入試などに頻出の、現在話題になっている時事問題などについて、高校生として必要な知識や見方などを身につける。	定期テストがおおよそ 8 割、提出物や長期休暇中の課題などがおおよそ 2 割。
数学 I	方程式と不等式、二次関数及び図形と計量について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。また、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。	学期評価：中間テスト期末テスト合わせて 8 割。平常点 2 割。 学年評価：学期評価を総計して 3 で割ったもの。 平常点： ・単元の確認テスト、章のまとめのテスト ・ノート、ワーク提出 ・長期の休みの宿題提出、試験 ・授業態度
数学 A	平面図形、集合と論理及び場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。また、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考	学期評価：中間テスト期末テスト合わせて 8 割。平常点 2 割。 学年評価：学期評価を総計して 3 で割ったもの。

	え方のよさを認識できるようにする。	平常点： ・単元の確認テスト、章のまとめのテスト ・ノート、ワーク提出 ・長期の休みの宿題提出、試験 ・授業態度
理科総合 A	理科の基本的な概念や原理の理解を深め、科学的な自然観を育成する。 実験などを行い、事物・現象の観察をとおして自然に関する関心や探究心を深め、科学的な自然観を育成する。	中間考査と期末考査 8 割、小テスト・実験プリント・その他 2 割
英語 I	自発的な発話に裏打ちされた自然で実践的なコミュニケーション能力を養う。基本的な構文や語彙力養成が必須条件となる。	学期評価：中間テスト 4 割、期末テスト 4 割、平常点 2 割。 学年評価：学期評価を総計して 3 で割ったもの（各学期の平均）。
英語表現	To sharpen communicative English skills. To improve reading comprehension ability. To improve essay writing skills and increase written output. To increase ability to express own opinion, both verbally and in writing. To expand English vocabulary. To improve Listening Comprehension skills.	Term tests will be based on vocabulary, grammar, reading comprehension, listening comprehension, and overall English expression skills studied in class. Throughout the year students will be tested on vocabulary from Word Power 1500 The midterm test will be worth 30%, the final 40%, and other class work 30% of the grade each term.
音楽 I	基礎的・基本的音楽技術と知識を身に付けることによって、音楽を求め愛好する心情を育てると共に、音楽との付き合い方を学び、感性を高める。	期末試験 5 割 実技試験 3 割 平常点 2 割（授業態度・提出物・豆テストで算出）
家庭基礎	人の一生と家族・福祉・衣食住・消費生活などに関する基礎的な	学期評価：期末テスト 6～7 割、実技、平常点 4～3 割

	知識と技術を取得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。	学年評価：学期評価を総計して3で割ったもの。 実技：調理実習・平面図など領域ごとに行なう。 平常点：ノート・プリント提出（各学期）授業態度(全学期)
保健	健康についての考え方について学習し、生活習慣病や喫煙・飲酒、ストレスなど様々な健康の課題に対して、適切に意思決定・行動選択ができるようにするとともに健康的なライフスタイルを身につける。	期末テスト(70%)と平常点(30%)で評価します。 平常点は ・授業に臨む参加態度 ・提出物等
体育	各種のスポーツを体験しながらそれぞれのスポーツの楽しさを実感する。また、スポーツテスト等を行なうことによって自分の体力を自覚し、スポーツの必要性を理解するとともに生涯スポーツの基礎を構築する。また、決められたルールを守り、お互いを尊重しあい、練習やゲームができるようにする。	各学期に実技のテストを行ないます。 実技テスト 70% 平常点 30% で評価します。 平常点は ・出席状況 ・授業への参加態度 ・服装等で評価します。
情報 A	コンピュータの操作術を覚えるだけでなく、情報の活用法を身につけられるようにする。	学期評価 期末テスト8割。平常点(作品・発表を含む)2割。 学年評価 学期評価を総計して3で割ったもの。 平常点・テーマごとの課題作成 ・ノート提出 ・各自作品発表の評価 ・授業態度
総合的な学習の時間 (宗教)	宗教の時間には、聖書に親しみ、イエスの生涯や教えを通して自分の生き方を考える。また、立腰黙想を実践しながら自分を見つめ、自分と周りの人々に与えられている命を大切にすることを学ぶ。その他、宗教行事に参加し、毎日の祈りや聖歌に親しみなが	定期試験は期末試験だけです。9割 平常点 1割 平常点の内容（ノート提出、宗教行事への参加、レポート提出など）

	ら桜の聖母生として成長していくことを目的としている。	
--	----------------------------	--

高1年2組

科目	内容	評価の仕方
国語総合（現代文）	作品を通して国語や言語文化に関心を高め、感じたり理解するとともに、筋道を立てて自分の考えを深めたりする。	期末・中間試験 4 割 平常点 2 割（授業態度・提出物・豆テストで算出）
国語総合（古典）	古典作品を通して、古典独特の言葉や表現に慣れ、当時の人々が伝えたい話を理解する。さらに当時の人々の気持ちや社会の在り方を知り、現代の私達に生かしていく。	期末・中間試験 4 割 平常点 2 割（授業態度・提出物・豆テストで算出）
現代社会	○この授業のあと 2～3 年では歴史と倫理を履修するだけの生徒たちに、主権者としての責任と自覚をもって社会を担っていく主体となることができるよう、現代の国内外の社会に関する基本的な知識と興味関心を養う。 ○大学入試などに頻出の、現在話題になっている時事問題などについて、高校生として必要な知識や見方などを身につける。	定期テストがおおよそ 8 割、提出物や長期休暇中の課題などがおおよそ 2 割。
数学 I	数学 I 全部と数学 II の式と証明・高次方程式の単元を学習する。 数学 I： 方程式と不等式、二次関数及び図形と計量について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。 数学 II： 式と証明・高次方程式の考え方について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。	学期評価：中間テスト期末テスト合わせて 8 割。平常点 2 割。 学年評価：学期評価を総計して 3 で割ったもの。 平常点： ・単元の確認テスト、章のまとめのテスト ・ノート、ワーク提出 ・長期の休みの宿題提出、試験 ・授業態度
数学 A	数学 A 全部と数学 B の平面ベクトルの単元を学習する。平面図形、集合と論理及び場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。また、ベクトルについて、基本的な概念を理解し、基本的な図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できるようにする。	学期評価：中間テスト期末テスト合わせて 8 割。平常点 2 割。 学年評価：学期評価を総計して 3 で割ったもの。 平常点： ・単元の確認テスト、章のまとめのテスト

		・ノート、ワーク提出 ・長期の休みの宿題提出、試験 ・授業態度
理科総合 A	理科の基本的な概念や原理の理解を深め、科学的な自然観を育成する。 実験などを行い、事物・現象の観察をとおして自然に関する関心や探究心を深め、科学的な自然観を育成する。	中間考査と期末考査 8 割、実験プリント・出席その他 2 割
化学 I	化学の基本的な概念や原理の理解を深める。 化学実験を行い、事物・現象の観察をとおして自然に関する関心や探究心を深め、科学的な自然観を育成する。 暗記確認帳を用いて知識の定着を図る。	中間考査と期末考査 8 割、実験プリント・出席その他 2 割
英語 I	自発的な発話に裏打ちされた自然で実践的なコミュニケーション能力を養う。基本的な構文や語彙力養成が必須条件となる。	学期評価：中間テスト 4 割、期末テスト 4 割、平常点 2 割。 学年評価：学期評価を総計して 3 で割ったもの（各学期の平均）。
オーラル I	To help students increase listening comprehension ability. To improve pronunciation and fluency. To increase vocabulary, idioms and use of natural English.	The end of term test will be about 60% listening and about 40% written. The written section of the test will be based on vocabulary and grammar points covered in the class.
音楽 I	基礎的・基本的音楽技術と知識を身に付けることによって、音楽を求め愛好する心情を育てると共に、音楽との付き合い方を学び、感性を高める。	期末試験 5 割 実技試験 3 割 平常点 2 割（授業態度・提出物・豆テストで算出）
家庭基礎	人の一生と家族・福祉・衣食住・消費生活などに関する基礎的、基本的な知識と技術を習得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。	学期評価：期末テスト 6～7 割、実技、平常点 4～3 割 学年評価：学期評価を総計して 3 で割ったもの。 実技：調理実習・平面図など領域ごとに行なう。 平常点：ノート・プリント提出（各学期）授業態度（全学期）
保健	健康についての考え方について学習し、生活習慣病や喫煙・飲酒、ストレスなど様々	期末テスト(70%)と平常点(30%)で評価します。

	な健康の課題に対して、適切に意思決定・行動選択ができるようにするとともに健康的なライフスタイルを身につける。	平常点は ・授業に臨む参加態度 ・提出物等
体育	各種のスポーツを体験しながらそれぞれのスポーツの楽しさを実感する。また、スポーツテスト等を行なうことによって自分の体力を自覚し、スポーツの必要性を理解するとともに生涯スポーツの基礎を構築する。また、決められたルールを守り、お互いを尊重しあい、練習やゲームができるようにする。	各学期に実技のテストを行います。 実技テスト 70% 平常点 30% で評価します。 平常点は ・出席状況 ・授業への参加態度 ・服装等で評価します。
情報 A	コンピュータの操作術を覚えるだけでなく、情報の活用法を身につけられるようにする。	学期評価 期末テスト 8割。平常点(作品・発表を含む) 2割。 学年評価 学期評価を総計して 3で割ったもの。 平常点・テーマごとの課題作成 ・ノート提出 ・各自作品発表の評価 ・授業態度
総合的な学習の時間 (宗教)	宗教の時間には、聖書に親しみ、イエスの生涯や教えを通して自分の生き方を考える。また、立腰黙想を実践しながら自分を見つめ、自分と周りの人々に与えられている命を大切にすることを学ぶ。その他、宗教行事に参加し、毎日の祈りや聖歌に親しみながら桜の聖母生として成長していくことを目的としている。	定期試験は期末試験だけです。 9割 平常点 1割 平常点の内容 (ノート提出、宗教行事への参加、レポート提出など)

1 年 3 組

科目	内容	評価の仕方
国語総合 (現代文)	作品を通して国語や言語文化に関心を高め、感じたり理解するとともに、筋道を立てて自分の考えを深めたりする。	期末・中間試験 4割 平常点 2割 (授業態度・提出物・豆テストで算出)
国語総合 (古典)	古典作品を通して、古典独特の言葉や表現に慣れ、当時の人々が伝えたい話を理解する。さらに当時の人々の気持ちや社会の在り方を知り、現代の私達に生かしていく。	期末・中間試験 4割 平常点 2割 (授業態度・提出物・小テストで算出)
現代社会	○この授業のあと 2～3 年では歴史と倫理を履修するだけの生徒たちに、主権者とし	定期テストがおおよそ 8割、提出物や長期休暇中の課題な

	での責任と自覚をもって社会を担っていく主体となることができるよう、現代の国内外の社会に関する基本的な知識と興味関心を養う。 ○大学入試などに頻出の、現在話題になっている時事問題などについて、高校生として必要な知識や見方などを身につける。	どがおおよそ 2 割。
数学Ⅱ	数学Ⅰの 2 次関数、三角比を含め、数学Ⅱの内容を学習する。自然現象や社会現象の解明に欠かせない関数とそのグラフの分析のための考え方や方法を身に付ける。また、それらを積極的に活用する態度を育てる。	学期評価：中間テスト・期末テスト合わせて 8 割。平常点 2 割。 学年評価：学期評価を総計して 3 で割ったもの。 平常点： ・節毎テスト ・問題集の課題をノートに行わせ提出、クリアーノート提出、豆テスト
数学 B	1 学期に中高一貫型のテキストを利用し、平面幾何と命題について学習し、2 学期以降数学 B（ベクトルと数列）の内容を学習する。 ・平面幾何の基本知識（三平方の定理、円周角の定理）と命題の基礎的知識の習得をはかり、さらに標準的な応用問題を解くことができるようにする。 ・ベクトル：平面や空間において、既習事項やこれまで不可能であった問題の解法を、ベクトルを用いて考えていく。 ・数列：いろいろな数の並び（規則）をもった数列について学び、どのように捉えていたら合理的に数えることができるかを考える。	学期評価：中間テスト・期末テスト合わせて 8 割。平常点 2 割。 学年評価：学期評価を総計して 3 で割ったもの。 平常点： ・節毎テスト ・問題集の課題をノートに行わせ提出、クリアーノート提出、豆テスト ・長期休暇中の課題提出、実力テスト。 ・授業態度、授業出席度
理科総合 A	理科の基本的な概念や原理の理解を深め、科学的な自然観を育成する。 実験などを行い、事物・現象の観察をとおして自然に関する関心や探究心を深め、科学的な自然観を育成する。	中間考査と期末考査 8 割、実験プリント・出席その他 2 割
化学Ⅰ	化学の基本的な概念や原理の理解を深める。 化学実験を行い、事物・現象の観察をとおして自然に関する関心や探究心を深め、科学的	中間考査と期末考査 8 割、実験プリント・出席その他 2 割

	な自然観を育成する。 暗記確認帳を用いて知識の定着を図る。	
英語 I	日本語と英語の構造の違いを理解し、正確に運用できるよう練習させる。読んだ事柄を自分の言葉でまとめることができる。 予習を前提とした授業であり、教科書の新出単語の意味を調べておくことは必須である Reading については一文ごとの意味を正確に把握すると共に、テキスト全体の意味の把握をして授業に臨む必要がある。	学期評価 中間テスト4割・期末テスト4割, 平常点2割 学年評価 学期評価を総計して3で割ったもの(各学期の平均) 平常点は以下の項目で評価します。各パートごとの豆テスト, 単語テストその他のテスト(全学期) 発表・授業態度(全学期)
オーラル I	To help students increase listening comprehension ability. To improve pronunciation and fluency. To increase vocabulary, idioms and use of natural English.	The end of term test will be about 60% listening and about 40% written. The written section of the test will be based on vocabulary and grammar points covered in the class.
音楽 I	基礎的・基本的音楽技術と知識を身に付けることによって、音楽を求め愛好する心情を育てると共に、音楽との付き合い方を学び、感性を高める。	期末試験 5割 実技試験 3割 平常点 2割(授業態度・提出物・豆テストで算出)
家庭基礎	人の一生と家族・福祉・衣食住・消費生活などに関する基礎的、基本的な知識と技術を習得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。	学期評価: 期末テスト6~7割、実技、平常点4~3割 学年評価: 学期評価を総計して3で割ったもの。 実技: 調理実習・平面図など領域ごとに行なう。 平常点: ノート・プリント提出(各学期) 授業態度(全学期)
保健	健康についての考え方について学習し、生活習慣病や喫煙・飲酒、ストレスなど様々な健康の課題に対して、適切に意思決定・行動選択ができるようにするとともに健康的なライフスタイルを身につける。	期末テスト(70%)と平常点(30%)で評価します。 平常点は ・授業に臨む参加態度 ・提出物等
体育	各種のスポーツを体験しながらそれぞれのスポーツの楽しさを実感する。また、スポーツ	各学期に実技のテストを行ないます。

	テスト等を行なうことによって自分の体力を自覚し、スポーツの必要性を理解するとともに生涯スポーツの基礎を構築する。また、決められたルールを守り、お互いを尊重しあい、練習やゲームができるようにする。	実技テスト 70% 平常点 30% で評価します。 平常点は ・出席状況 ・授業への参加態度 ・服装等で評価します。
情報 A	コンピュータの操作術を覚えるだけでなく、情報の活用法を身につけられるようにする。	学期評価 期末テスト 8割。平常点(作品・発表を含む) 2割。 学年評価 学期評価を総計して 3で割ったもの。 平常点・テーマごとの課題作成 ・ノート提出 ・各自作品発表の評価 ・授業態度
総合的な学習の時間（7つの習慣 J）	中学二年生の時に学んだ「7つの習慣 J」の「グリーン・プログラム」を土台とし、どのように勉強を主体とした高校生活に摘要するかを学ぶ「オレンジ・プログラム」を実施する。	各学期の期末試験が 9割 。 平常点は 1割 。平常点は感想シートの提出とチャレンジの実施状況を加味します。

1年4、5、6組

科目	内容	評価の仕方
国語総合（現代文）	作品を通して国語や言語文化に関心を高め、感じたり理解するとともに、筋道を立てて自分の考えを深めたりする。	期末・中間試験 4割 平常点 2割（授業態度・提出物・豆テストで算出）
国語総合（古典）	古典作品を通して、古典独特の言葉や表現に慣れ、当時の人々が伝えたい話を理解する。さらに当時の人々の気持ちや社会の在り方を知り、現代の私達に生かしていく。	期末・中間試験 4割 平常点 2割（授業態度・提出物・豆テストで算出）
現代社会	○この授業のあと2～3年では歴史と倫理を履修するだけの生徒たちに、主権者としての責任と自覚をもって社会を担っていく主体となることができるよう、現代の国内外の社会に関する基本的な知識と興味関心を養う。 ○大学入試などに頻出の、現在話題になっている時事問題などについて、高校生として必要な知識や見方などを身につける。	定期テストがおおよそ 8割、提出物や長期休暇中の課題などがおおよそ 2割。

数学 I	方程式と不等式、二次関数及び図形と計量について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。また、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。	学期評価：中間テスト期末テスト合わせて 8 割。平常点 2 割。 学年評価：学期評価を総計して 3 で割ったもの。 平常点： ・単元の確認テスト、章のまとめのテスト ・ノート、ワーク提出 ・長期の休みの宿題提出、試験 ・授業態度
数学 A	平面図形、集合と論理及び場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。また、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。	学期評価：中間テスト期末テスト合わせて 8 割。平常点 2 割。 学年評価：学期評価を総計して 3 で割ったもの。 平常点： ・単元の確認テスト、章のまとめのテスト ・ノート、ワーク提出 ・長期の休みの宿題提出、試験 ・授業態度
理科総合 A	基本的な概念や原理の理解を深め、科学的な自然観を育成する。 実験などを行い、事物・現象の観察をとおして自然に関する関心や探究心を深め、科学的な自然観を育成する。	中間考查と期末考查 8 割、小テスト・実験プリント・その他 2 割
英語 I	この授業では、中学校英語の復習と、高校英語の基礎固めを行います。Exceed では読解や実践的コミュニケーションを中心とし、Harvest では Exceed で学習した文法事項を定着させます。	① 中間テスト 3 割 ② 期末テスト 4 割 ③ *平常点 3 割 *平常点は小テスト、単語テスト、発表、提出物等で評価
オーラル I	To help students increase listening comprehension ability. To improve pronunciation and fluency. To increase vocabulary, idioms and use of natural English.	The end of term test will be about 60% listening and about 40% written. The written section will focus on vocabulary and grammar points practiced in class. There will also be a section

		on finding the accented syllable within words.
音楽 I	基礎的・基本的音楽技術と知識を身に付けることによって、音楽を求め愛好する心情を育てると共に、音楽との付き合い方を学び、感性を高める。	期末試験 5 割 実技試験 3 割 平常点 2 割（授業態度・提出物・豆テストで算出）
家庭基礎	人の一生と家族・福祉・衣食住・消費生活などに関する基礎的、基本的な知識と技術を習得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。	学期評価：期末テスト 6～7 割、実技、平常点 4～3 割 学年評価：学期評価を総計して 3 で割ったもの。 実技：調理実習・平面図など領域ごとに行なう。 平常点：ノート・プリント提出（各学期）授業態度(全学期)
保健	健康についての考え方について学習し、生活習慣病や喫煙・飲酒、ストレスなど様々な健康の課題に対して、適切に意思決定・行動選択ができるようにするとともに健康的なライフスタイルを身につける。	期末テスト(70%)と平常点(30%)で評価します。 平常点は ・授業に臨む参加態度 ・提出物等
体育	各種のスポーツを体験しながらそれぞれのスポーツの楽しさを実感する。また、スポーツテスト等を行なうことによって自分の体力を自覚し、スポーツの必要性を理解するとともに生涯スポーツの基礎を構築する。また、決められたルールを守り、お互いを尊重しあい、練習やゲームができるようにする。	各学期に実技のテストを行ないます。 実技テスト 70% 平常点 30% で評価します。 平常点は ・出席状況 ・授業への参加態度 ・服装等で評価します。
情報 A	コンピュータの操作術を覚えるだけでなく、情報の活用法を身につけられるようにする。	学期評価 期末テスト 8 割。平常点(作品・発表を含む) 2 割。 学年評価 学期評価を総計して 3 で割ったもの。 平常点・テーマごとの課題作成 ・ノート提出 ・各自作品発表の評価 ・授業態度
総合的な学習の時間（宗教）	宗教の時間には、聖書に親しみ、イエスの生涯や教えを通して自分の生き方を考え	定期試験は期末試験だけです。 9 割

	る。また、立腰黙想を実践しながら自分を見つめ、自分と周りの人々に与えられている命を大切にすることを学ぶ。その他、宗教行事に参加し、毎日の祈りや聖歌に親しみながら桜の聖母生として成長していくことを目的としている。	平常点 1割 平常点の内容（ノート提出、宗教行事への参加、レポート提出など）
--	--	--

2年1組

科目	内容	評価の仕方
現代文	論理的思考力や感受性の育成をはかる。筆者・作者の人間観や美意識、社会への問題意識などを的確に読み取り、自己の考え方を深め、視野を広げる。模試や入試問題に対応する実力を養成する。	平常点 2割、定期試験 8割 平常点は小テストや提出物、授業態度から算出
古典	一年で学んだ読解力をさらに発展させて古典に興味を持たせ、あわせて言語感覚や言語生活を豊かなものにすることを目標とする。模試や入試問題に対応する実力を養成する。	平常点 2割、定期試験 8割 平常点は豆テストや提出物、授業態度から算出
世界史 B	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国や本学院の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。	学期評価 中間テスト、期末テスト各 4割、平常点 2割 学年評価 学期評価を総計して 3 で割ったもの（各学期の平均） 平常点は以下の項目で評価（全学期） 章末の確認テストおよびその他のテスト ファイル提出またはノート提出(全学期) レポート提出(2学期 および 随時) 授業態度 評価の観点・方法、授業の進度は状況により変更することがある
生物 I	基本的な概念や原理の理解を深め、科学的な自然観を育成する。 生物や生命活動についての観察、実験などを行い、事物・現象の観察をとおして自然に関する関心や探究心を深め、科学的な自然観を育成する。	中間考査と期末考査 8割、小テスト・実験プリント・その他 2割
総合英語	語彙力を豊かにして、様々な内容の文に触れることで英語圏の文化や歴史などへの理解を深める。実際に使われている英語表現になじみ、海外研修でも実用できるようにする。4つの領域（Listening, Speaking, Reading, Writing）の力をバランスよく身につける。	定期試験 8割、平常点 2割 平常点は小テスト、提出物、授業態度から算出

英語理解	To improve overall reading skills To improve reading speed. Students will increase reading speed by at least 30%. To improve inference and analytical skills. To build vocabulary. To help students gain confidence in reading English.	Midterm tests will focus on reading comprehension skills and vocabulary studied in class.
英語表現	Reach a level where the student is confident to handle any situation she may meet in an English-speaking environment. 100% of students to pass the Pre-2 Eiken test. 50% to pass Grade 2 of Eiken.	The mid-term and end-of-term tests will be based on vocabulary, grammar and reading skills as studied in class. There will also be a writing section based on conversations presented in class and themes practiced in the Challenge Books. During class, there will be regular speaking tests as well as reading and listening tests.
LL 演習	To encourage students to express original and creative thought. To be able to mold thoughts and opinions into an easily understood and strong argument for or against a particular issue.	Students will be evaluated upon the debates they participate in These points will be based on active participation, effort, and fluency. Students will also fill out a self-evaluation form after each class. The teacher will also consider these when grading students for the term.
異文化理解	To develop and appreciation of different cultures. To recognize the similarities and differences between Japanese culture and foreign cultures. To broaden their views through ESTA. -To sharpen communicative English skills.	Mid-Term Test 30% End-of-Term Test 40% Other 40%
保健	生涯それぞれの段階における健康の課題について理解する。生涯の健康の課題に応じてさまざまな保健・医療活動が行われていることを知る。環境問題について学ぶとともに汚染防止のための取り組みについて考える。	期末テスト(70%)と平常点(30%)で評価します。平常点は・授業に臨む参加態度・提出物等
体育	スポーツを体験しながらスポーツの楽しさを実感する。スポーツテスト等を行ない、自分の体力を自覚し、スポーツの必要性を理解するとともに生涯スポーツの基礎を構築する。決められたルールを守り、お互いを尊重しあい、練	各学期に実技のテストを行う。 実技テスト 70% 平常点 30% 平常点は・出席状況・授業への参加態度・服装等

	習やゲームができるようにする。	
情報 A	コンピュータの操作術を覚えるだけでなく、情報の活用法を身につけられるようにする。	学期評価 期末テスト 8 割。平常点(作品・発表を含む) 2 割。 学年評価 学期評価を総計して 3 で割ったもの。 平常点・テーマごとの課題作成・ノート提出・各自作品発表の評価・授業態度
総合的な学習の時間 (7つの習慣 J)	倫理宗教の授業で学んだ「神と人の前で誠実に生き、人のために奉仕する愛の心」を具体的に実践するため、その手段として「7つの習慣 J」のプログラムを学ぶ。このプログラムを通して、「主体性」を発揮して自分自身で考え、周りの人とのコミュニケーションをとる力を培い、自立した人間として成長することを目指している。	各学期の期末試験が 9 割。 平常点は 1 割。平常点は感想シートの提出とチャレンジの実施状況を加味する。

2 年 2 組

科目	内容	評価の仕方
現代文	2 年 1 組に同じ	2 年 1 組に同じ
古典	2 年 1 組に同じ	2 年 1 組に同じ
世界史 B	2 年 1 組に同じ	2 年 1 組に同じ
日本史 B	我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際的に主体的に生きる日本人としての資質を養う。	学期評価 中間テスト 4 割、期末テスト 4 割、平常点 2 割 学年評価 学期評価を総計して 3 で割ったもの(各学期の平均) 平常点は、授業態度、ノート提出、レポート提出など。
数学 II	自然現象や社会現象の解明に欠かせない関数とそのグラフの分析のための考え方や方法を身に付ける。また、それらを積極的に活用する態度を育てる。	定期テスト 8 割、その他小テストや課題提出など 2 割。
数学 B	ベクトル、数列を教材とし、様々な事柄を数学的に考察し処理する能力を高め、創造性の基礎を培う。	定期テスト 8 割、その他小テストや課題提出など 2 割。
生物 I	基本的な概念や原理の理解を深め、科学的な自然観を育成する。 生物や生命活動についての観察、実験などを行い、事物・現象の観察をととして自然に関する関心や探究心を深め、科学的な自然観を育成する。	中間考査と期末考査 8 割、小テスト・実験プリント・実力テストその他 2 割
物理 I	基本的な概念や原理の理解を深め、科学的な自然観を育成する。 実験などを行い、事物・現象の観察をととして自然に関する関心や探究心を深め、科学的な自然観を育成する。	中間考査と期末考査 8 割、小テスト・実験プリント・その他 2 割
化学 II (選択 B)	すでに学習した『化学 I』の基本的な概念や原理・理解を深め、より科学的な自然観について学習する。自然に關す	中間考査と期末考査 8 割、提出物・出席その他 2 割

	る関心や探求心を深め、更なる専門性を育成する。	
英語Ⅱ	語彙力を豊かにして、様々な内容の文に触れることで英語圏の文化や歴史などへの理解を深める。実際に使われている英語表現になじむ。4つの領域(Listening, Speaking, Reading, Writing)の力をバランスよく身につける。	定期試験 8割、平常点 2割 平常点は小テスト、提出物、授業態度から算出
ライティング(選択B)	学校生活や日常生活に関係した身近な場面や話題について、自分の意見や考え、体験などをおりまぜながら英語で描写できるようになる。 ・情報を集めたり加工したりしながら、場面や目的に応じて創造的に書く能力を身につける。 ・ライティングの能力を活用して実践的なコミュニケーション活動ができるようになる。	学期評価：中間テスト、期末テスト、平常点による評価 学年評価：各学期の平均 平常点は小テスト、提出物、授業態度などで評価する。
オーラルⅠ	To help students increase listening comprehension ability. To improve pronunciation and fluency. To increase vocabulary, idioms and use of natural English.	End of term test=70% Vocabulary and grammar quizzes, role-plays, and class participation=30% of grade for each term.
保健	2年1組に同じ	2年1組に同じ
体育	2年1組に同じ	2年1組に同じ
総合的な学習(7つの習慣J)	2年1組に同じ	2年1組に同じ

2年3組

科目	内容	評価の仕方
現代文	近代以降の様々な文章を読む能力を高め、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書する態度を育てる。また、語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、来年度につながる読解力や表現力を養う。	平常点 2割、定期試験 8割 平常点は小テストや提出物、授業態度から算出
古典	一年で学んだ読解力をさらに発展させて古典に興味を持たせ、あわせて言語感覚や言語生活を豊かなものにすることを目標とする。	平常点 2割、定期試験 8割 平常点は小テストや提出物、授業態度から算出
世界史B	2年1組に同じ	2年1組に同じ
日本史B	2年2組に同じ	2年2組に同じ
数学Ⅲ	自然現象や社会現象の解明に欠かせない関数とそのグラフの分析のための考え方や方法を身に付ける。また、数学的な見方や考え方のよさを認識する。	定期テスト 8割、その他小テストや課題提出など 2割。
数学ⅠA 演習	数学Ⅰ・Aの全範囲にわたり、入試に対応するための基本知識を理解し、数学的思考	定期テスト 8割、その他小テストや課題提出など 2割。

	力をつけて応用力を養う。 1年間の授業と課外を通して数多くの問題を解き、センター試験で全国平均点を目指す。	
数学 C	数Bのベクトル、数列、数Cの行列、式と曲線を教材とし、様々な事柄を数学的に考察し処理する能力を高める。公式などもただ覚えるだけでなく、考え方、導き方を理解したうえで使えるようにする。	定期テスト8割、その他小テストや課題提出など2割。
数学ⅡB 演習	数学Ⅱ・Bの全範囲にわたり、入試に対応できるための基本知識を理解し、数学的思考力をつけて応用力を養う。 1年間の授業と課外を通して数多くの問題を解き、センター試験で全国平均点を目指す。	定期テスト8割、その他小テストや課題提出など2割。
化学Ⅱ（選択B）	すでに学習した『化学Ⅰ』の基本的な概念や原理・理解を深め、より科学的な自然観について学習する。自然に関する関心や探求心を深め、更なる専門性を育成する。	中間考査と期末考査8割、提出物・出席その他2割
生物Ⅰ	2年2組に同じ	2年2組に同じ
英語Ⅱ	より幅広い話題や問題（文化、社会、理科・科学、偉人に関するもの）について触れながら、聞いたことや読んだことを理解し、情報や自分の考えを英語で話したり書いたりすることができるようにする。また「1分間100語」を目標に読む速度を向上させる。パラグラフごとに内容を素早く把握するなどのReading力を伸ばす。	学期評価：中間テスト、期末テスト、平常点による評価 学年評価：各学期の平均 平常点は小テスト、提出物、授業態度などで評価する。
ライティング（選択B）	2年2組に同じ	2年2組に同じ
英語演習（選択A）	総合的な問題に取り組ませ、読む、聞く、書く、および音読に重点を置いた指導を行う。	中間30%＋期末40%＋平常30%とする
オーラルⅠ	2年2組に同じ	2年2組に同じ
保健	2年1組に同じ	2年1組に同じ
体育	2年1組に同じ	2年1組に同じ
総合的な学習の時間（宗教）	今年度は、イエス・キリストの価値観（人間の尊厳の重視、寛容、正義、連帯）を、聖書を通して学ぶとともに、新聞記事などを通して、この世界がどのような問題を抱え、いかにイエスの価値観から離れているか、そして、そのような世界の中で自分がどのように貢献できるかを考える。貧富の差、地球環境、教育、	学期評価 期末試験 90%、平常点 10% 学年評価 学期評価を総計して3で割ったもの。 平常点の算出方法 ・立腰黙想とその振り返りがしっかりできているか ・ノート、夏休みの課題、レポートの提出

	核と平和などを扱う予定。また、年間を通じて立腰黙想を行い、充実した高校生活を送るに必要な精神的土台を作る。	・聖書を活用しているか ・授業への参加の度合い
--	---	--

2年4，5組

科目	内容	評価の仕方
現代文	近代以降の様々な文章を読む能力を高め、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書する態度を育てる。また、語句の意味，用法を的確に理解し，語彙を豊かにするとともに、来年度につながる読解力や表現力を養う。	平常点 2 割、定期試験 8 割 平常点は豆テストや提出物、授業態度から算出
古典	一年で学んだ読解力をさらに発展させて古典に興味を持たせ、あわせて言語感覚や言語生活を豊かなものにすることを目標とする。	平常点 2 割、定期試験 8 割 平常点は豆テストや提出物、授業態度から算出
世界史 B	2 年 1 組に同じ	2 年 1 組に同じ
日本史 B	2 年 2 組に同じ	2 年 2 組に同じ
数学 II	自然現象や社会現象の解明に欠かせない関数とそのグラフの分析のための考え方や方法を身に付ける。また、数学的な見方や考え方のよさを認識する。	定期テスト 8 割、その他小テストや課題提出など 2 割。
数学 B	ベクトル、数列を教材とし、様々な事柄を数学的に考察し処理する能力を高める。公式などもただ覚えるだけでなく、考え方、導き方を理解したうえで使えるようにする。	定期テスト 8 割、その他小テストや課題提出など 2 割。
化学 I（選択 B）	基本的な概念や原理の理解を深め、科学的な自然観を育成する。 実験などを行い、事物・現象の観察をとおして自然に関する関心や探究心を深め、科学的な自然観を育成する。	中間考査と期末考査 8 割、小テスト・実験プリント・その他 2 割
生物 I	2 年 2 組に同じ	2 年 2 組に同じ
英語 II	より幅広い話題や問題（文化、社会、理科・科学、偉人に関するもの）について触れながら、聞いたことや読んだことを理解し、情報や自分の考えを英語で話したり書いたりすることができるようにする。また「1 分間 100 語」を目標に読む速度を向上させる。パラグラフごとに内容を素早く把握するなどの Reading 力を伸ばす。	学期評価：中間テスト、期末テスト、平常点による評価 学年評価：各学期の平均 平常点は小テスト、提出物、授業態度などで評価する。
ライティング（選択 B）	2 年 2 組に同じ	2 年 2 組に同じ

英語演習（選択 A）	総合的な問題に取り組ませ、読む、聞く、書く、および音読に重点を置いた指導を行う。	中間 30%＋期末 40%＋平常 30%とする
オーラル I	2 年 2 組に同じ	2 年 2 組に同じ
音楽 II	幼稚園や老人ホームへ演奏訪問する中で、表現する方法を具体的に学ぶ。また聴衆に喜んで貰うことができるという達成感や充実感を体験し、自分の存在を再認識する。	期末試験 3 割 実技試験 4 割 平常点 3 割（授業態度・提出物・豆テストで算出）
美術 I	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。	作品および平常点（持参物、作品の提出締め切り等）、定期試験の成績を総合的に評価する。（作品・平常点を 75%、定期試験を 25%）
保健	2 年 1 組に同じ	2 年 1 組に同じ
体育	2 年 1 組に同じ	2 年 1 組に同じ
総合的な学習の時間（7つの習慣 J）	2 年 1 組に同じ	2 年 1 組に同じ

3 年 1 組

科目	内容	評価の仕方
現代文	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書する態度を育てる。論理的な文章や文学的な文章を正確に読み取りながら、主題やテーマについて意見や感想をまとめ、述べられるようにする。また、基礎的な語句の習熟を図る。	学期評価：中間テスト 4 割、 期末テスト 4 割、平常点 2 割 学年評価：学期評価を総計して 3 で割ったもの（各学期の平均）
古典	古典文学を深く学ぶことで、日本の歴史・文化を考えさせ、日本人としての豊かな感性を磨き、生涯にわたり古典を愛好する心情を育てる。	学期評価：中間テスト 4 割、 期末テスト 4 割、平常点 2 割 学年評価：学期評価を総計して 3 で割ったもの（各学期の平均）
国語演習	特定の文章や作品、文種や形態などについて、まとまりのあるもの（ある程度の分量のもの）を中心に取り上げるようにする。入試問題に対応する読解力を身につけさせる。	平常点 2 割、定期試験 8 割 平常点は豆テストや提出物、授業態度から算出
世界史 B	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国や本学院の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。	学期評価 中間テスト 4 割、 期末テスト 4 割、平常点 2 割 学年評価 学期評価を総計して 3 で割ったもの（各学期の平均）

		平常点は以下の項目で評価します。 章末の確認テストおよびその他のテスト(全学期) ファイル提出またはノート提出(全学期) レポート提出(随時) 授業態度(全学期) ※評価の観点・方法、授業の進度は状況により変更することがあります。
日本史 A	我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際的に主体的に生きる日本人としての資質を養う。	学期評価 中間テスト 4 割、 期末テスト 4 割、平常点 2 割 学年評価 学期評価を総計して 3 で割ったもの（各学期の平均）
倫理	○古今東西の哲学者や宗教家などの思想を、広く浅く紹介することにより、知的好奇心を養い、加えて一般教養として知っておくべき考え方や名言をわかりやすく紹介する。 ○センター入試の「倫理」および「倫理、政治・経済」を受験する生徒に、課外でカバーする項目以外については、できる限り授業の中で理解させるよう努める。	定期テストがおおよそ 8 割、提出物や長期休暇中の課題などがおおよそ 2 割。
総合英語	英語で書かれた文章や発言の内容とその裏にある価値観を理解し、英語の文章や口頭で自分の意見や価値観を伝えることができるようにする。そのための語彙力と確かな文法知識を身に付ける。英文法の総復習、長文の練習問題、リスニング問題に取り組むことで、大学入試に対応できる力を身につける。	学期評価 中間テスト 4 割・ 期末テスト 4 割、平常点 2 割 学年評価 学期評価を総計して 3 で割ったもの（各学期の平均）
英語表現	The main goal of the class will be improving communicative writing skills, reading comprehension, and increasing vocabulary. Correct use of grammar in communicative English will be stressed.	Midterm and Term Tests Midterm Test= 30% Final Test= 40% Essays, weekly journal, quizzes, class participation= 30% of grade each term

異文化理解	To give the students a deeper understanding of cultural values and problems of understanding that may occur between cultures. Also, to explore in-depth the barriers to communication that happen within cultures (stereotyping, discrimination).	The two term tests will be graded and counted as %35 percent of the final grade. Participation points will make up the other 30% of the final grade.
グローバルイングリッシュ		
体育	各種のスポーツを体験しながらそれぞれのスポーツの楽しさを実感する。また、スポーツテスト等を行なうことによって自分の体力を自覚し、スポーツの必要性を理解するとともに生涯スポーツの基礎を構築する。また、決められたルールを守り、お互いを尊重しあい、練習やゲームができるようにする。	各学期に実技のテストを行ないます。 実技テスト 70% 平常点 30% で評価します。 平常点は ・出席状況 ・授業への参加態度 ・服装等で評価します。
総合的な学習の時間（宗教）	今年度は、マルコによる福音書を通読することを通してイエスの価値観を学び、それを実践に移すことによって、真の自分に成長し、社会の変革に貢献する人となることを目指す。二学期後半は、小論「私の精神史」を書くことにより、三年間の高校生活を振り返る。また、年間を通じて立腰黙想を行い、受験および新しい生活を始めるのに必要な精神的土台を堅固なものにする。	学期評価 期末テスト 9 割、平常点 1 割 学年評価 1, 2 学期評価を総計して 2 で割ったものの 9 割 + 3 学期平常点 平常点の算出方法 ・立腰黙想とその振り返りがしっかりできているか ・ノートと小論の提出 ・聖書を活用しているか ・授業への参加の度合い

3 年 2 組

科目	内容	評価の仕方
現代文	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書する態度を育てる。論理的な文章や文学的な文章を正確に読み取りながら、主題やテーマについて意見や感想をまとめ、述べ	学期評価：中間テスト 4 割、期末テスト 4 割、平常点 2 割 学年評価：学期評価を総計して 3 で割ったもの（各学期の平均）

	られるようにする。また、基礎的な語句の習熟を図る。	
古典	古典文学を深く学ぶことで、日本の歴史・文化を考えさせ、日本人としての豊かな感性を磨き、生涯にわたり古典を愛好する心情を育てる。	学期評価：中間テスト4割、 期末テスト4割、平常点2割 学年評価：学期評価を総計して3で割ったもの（各学期の平均）
世界史 A	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国や本学院の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。	中間テスト・期末テストともに実施します。 3学期の期末テストは実施しません。 学期評価 中間テスト5割＋ 期末テスト5割に平常点(1～5点)加算 学年評価 学期評価を総計して2で割ったもの(各学期の平均) 平常点は以下の項目で評価します。 ファイル提出(全学期) レポート提出(随時) 授業態度(全学期) 評価の観点・方法、授業の進度は状況により変更することがあります。
日本史 A	3年1組に同じ	3年1組に同じ
世界史 B	3年1組に同じ	3年1組に同じ
日本史 B	日本の近代・現代を学習する。近代日本の形成とアジアの動きを学び、日本の歴史と世界の動きを関連づけて考える。また、日本文化と伝統を学び、国際社会に生きるための教養を身につける。さらに受験を考慮し、必要な基礎知識を整理・統合し、知識の定着を図る。	中間試験と期末試験で9割。 平常点1割。 平常点は、ワークブックの提出、レポート提出などを加味する。
政治経済		
倫理演習	○必修の「倫理」でカバーできない項	確認テストがおおよそ8割、提

	目を、この演習ですべて履修する。センター試験で倫理をとる生徒への指導を前提に、必要ない生徒にもすべて学習してもらう。 ○もし講義内容が早めに終われば、プレゼンテーションやディベートといった演習授業ならではの応用的な内容を取り入れる。	出物、プレゼンテーションの評価などがおよそ 2 割。
数学Ⅲ	二年次までの学習内容を振り返りながら、極限や微分積分の考えをいろいろな関数にまで押し進め、既習内容の理論的根拠を明らかにするとともに、基本的事項の理解と基礎的計算の習熟を図り、他分野への応用力を養う。	学期評価:中間考查と期末考查の平均の 8 割に、平常点 2 割分を加える。 学年評価:各学期の学期評価を総計して 3 で割る。 平常点: 授業への出席状況、宿題提出状況、授業内容への関心及び授業に取り組む態度などにより評価する。
数学C	行列、式と曲線を学習する。行列の概念と基本性質を理解し、連立一次方程式や点の移動の考察に活用する。また、二次曲線の性質及び曲線がいろいろな式で表現できることを理解し、具体的な事象に活用できるようにする。	学期評価:中間考查と期末考查の平均の 8 割に、平常点 2 割分を加える。 学年評価:各学期の学期評価を総計して 3 で割る。 平常点: 授業への出席状況、宿題提出状況、授業内容への関心及び授業に取り組む態度などにより評価する。
数学ⅠA 演習	数学Ⅰ、数学Aの基本事項を確実にし、頻出問題に取り組むことにより解法パターンを習得し、実践問題を通して入試に対応できる学力を養う。	定期テスト 8 割、その他小テストや課題提出など 2 割。
数学ⅡB 演習	数学Ⅰ、数学Aの基本事項を確実にし、頻出問題に取り組むことにより解法パターンを習得し、実践問題を通して入試に対応できる学力を養う。	定期テスト 8 割、その他小テストや課題提出など 2 割。
生物Ⅰ 演習	すでに履修した「生物Ⅰ」の理解を深め、問題演習を通して大学受験への実践力・応用力を養う。	中間考查と期末考查 8 割、小テスト・その他 2 割
生物Ⅱ（選択 E）	すでに「生物Ⅰ」で学習した生物の基	中間考查と期末考查 8 割、小

	本的な概念や原理の理解を深め、より専門的な生物学を学習する。 生物や生命活動についての観察、実験などを行い、事物・現象の観察をとおして自然に関する関心や探究心を深め、科学的な自然観を育成する。	テスト・その他 2 割
化学Ⅰ演習	すでに履修した「化学Ⅰ」の理解を深め、問題演習を通して大学受験への実践力・応用力を養う。	中間考査と期末考査 8 割、実力テスト・出席その他 2 割
化学Ⅱ演習	すでに履修した「化学Ⅱ」の理解を深め、問題演習を通して大学受験への実践力・応用力を養う。	中間考査と期末考査 8 割、小テスト・実力テストその他 2 割
物理Ⅱ（選択 E）	今年は開講せず。	
リーディング	英語で書かれた文章や発言の内容とその裏にある価値観を理解し、英語の文章や口頭で自分の意見や価値観を伝えることができるようにする。そのための語彙力と確かな文法知識を身に付ける。英文法の総復習、長文の練習問題、リスニング問題に取り組むことで、大学入試に対応できる力を身につける。	学期評価 中間テスト 4 割・期末テスト 4 割、平常点 2 割 学年評価 学期評価を総計して 3 で割ったもの（各学期の平均）
英語演習（選択 E）	大学入試センター試験の長文問題に対する対策講座。第 4 問、第 5 問、第 6 問の演習。およびセンター試験リスニング対策を 1 時間実施。	中間 40% + 期末 40% + 平常点 20% （リスニング 25% と長文問題の配分は 75%）
オーラルⅠ	To help students increase listening comprehension ability. To improve pronunciation and fluency. To increase vocabulary, idioms and use of natural English.	The end of term test will be about 60% listening and about 40% written. The written section of the test will be based on vocabulary and grammar points covered in the class.
体育	各種のスポーツを体験しながらそれぞれのスポーツの楽しさを実感する。また、スポーツテスト等を行なうことによって自分の体力を自覚し、スポーツの必要性を理解するとともに生涯スポーツの基礎を構築する。また、決められたルールを守り、お互いを尊重しあい、練習やゲームができるようにする。	各学期に実技のテストを行います。 実技テスト 70% 平常点 30% で評価します。 平常点は ・出席状況

		・授業への参加態度 ・服装等で評価します。
総合的な学習の時間（宗教）	3年1組に同じ	3年1組に同じ

3年3組

科目	内容	評価の仕方
現代文	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書する態度を育てる。論理的な文章や文学的な文章を正確に読み取りながら、主題やテーマについて意見や感想をまとめ、述べられるようにする。また、基礎的な語句の習熟を図る。	学期評価：中間テスト4割、期末テスト4割、平常点2割 学年評価：学期評価を総計して3で割ったもの（各学期の平均）
古典	古典文学を深く学ぶことで、日本の歴史・文化を考えさせ、日本人としての豊かな感性を磨き、生涯にわたり古典を愛好する心情を育てる。	学期評価：中間テスト4割、期末テスト4割、平常点2割 学年評価：学期評価を総計して3で割ったもの（各学期の平均）
世界史 A	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国や本学院の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。	中間テスト・期末テストともに実施します。 3学期の期末テストは実施しません。 学期評価 中間テスト5割＋期末テスト5割に平常点(1～5点)加算 学年評価 学期評価を総計して2で割ったもの(各学期の平均) 平常点は以下の項目で評価します。 ファイル提出(全学期) レポート提出(随時) 授業態度(全学期)

		評価の観点・方法、授業の進度は状況により変更することがあります。
日本史 A	3 年 1 組に同じ	3 年 1 組に同じ
世界史 B	3 年 1 組に同じ	3 年 1 組に同じ
日本史 B	日本の近代・現代を学習する。近代日本の形成とアジアの動きを学び、日本の歴史と世界の動きを関連づけて考える。また、日本文化と伝統を学び、国際社会に生きるための教養を身につける。さらに受験を考慮し、必要な基礎知識を整理・統合し、知識の定着を図る。	中間試験と期末試験で 9 割。 平常点 1 割。 平常点は、ワークブックの提出、レポート提出などを加味する。
倫理	3 年 1 組に同じ	3 年 1 組に同じ
倫理演習	○必修の「倫理」でカバーできない項目を、この演習ですべて履修する。センター試験で倫理をとる生徒への指導を前提に、必要ない生徒にもすべて学習してもらう。 ○もし講義内容が早めに終われば、プレゼンテーションやディベートといった演習授業ならではの応用的な内容を取り入れる。	確認テストがおおよそ 8 割、提出物、プレゼンテーションの評価などがおおよそ 2 割。
数学 I	行列、式と曲線を学習する。行列の概念と基本性質を理解し、連立一次方程式や点の移動の考察に活用する。また、二次曲線の性質及び曲線がいろいろな式で表現できることを理解し、具体的な事象に活用できるようにする。	学期評価:中間考査と期末考査の平均の 8 割に、平常点 2 割分を加える。 学年評価:各学期の学期評価を総計して 3 で割る。 平常点: 授業への出席状況、宿題提出状況、授業内容への関心及び授業に取り組む態度などにより評価する。
数学 A	数学 I、数学 A の基本事項を確実にし、頻出問題に取り組むことにより解法パターンを習得し、実践問題を通して入試に対応できる学力を養う。	定期テスト 8 割、その他小テストや課題提出など 2 割。
数学総合演習		
生物 I 演習	すでに履修した「生物 I」の理解を深め、問題演習を通して大学受験への	中間考査と期末考査 8 割、小テスト・その他 2 割

	実践力・応用力を養う。	
生物Ⅱ（選択 E）	すでに「生物Ⅰ」で学習した生物の基本的な概念や原理の理解を深め、より専門的な生物学を学習する。 生物や生命活動についての観察、実験などを行い、事物・現象の観察をとおして自然に関する関心や探究心を深め、科学的な自然観を育成する。	中間考査と期末考査 8 割、小テスト・その他 2 割
化学Ⅰ演習	すでに履修した「化学Ⅰ」の理解を深め、問題演習を通して大学受験への実践力・応用力を養う。	中間考査と期末考査 8 割、実力テスト・出席その他 2 割
化学Ⅱ演習	すでに履修した「化学Ⅱ」の理解を深め、問題演習を通して大学受験への実践力・応用力を養う。	中間考査と期末考査 8 割、小テスト・実力テストその他 2 割
物理Ⅱ（選択 E）	今年は開講せず。	
リーディング	英語で書かれた文章や発言の内容とその裏にある価値観を理解し、英語の文章や口頭で自分の意見や価値観を伝えることができるようにする。そのための語彙力と確かな文法知識を身に付ける。英文法の総復習、長文の練習問題、リスニング問題に取り組むことで、大学入試に対応できる力を身につける。	学期評価 中間テスト 4 割・期末テスト 4 割、平常点 2 割 学年評価 学期評価を総計して 3 で割ったもの（各学期の平均）
英語演習（選択 E）	大学入試センター試験の長文問題に対する対策講座。第 4 問、第 5 問、第 6 問の演習。およびセンター試験リスニング対策を 1 時間実施。	中間 40% + 期末 40% + 平常点 20% (リスニング 25% と長文問題の配分は 75%)
オーラルⅠ	To help students increase listening comprehension ability. To improve pronunciation and fluency. To increase vocabulary, idioms and use of natural English.	The end of term test will be about 60% listening and about 40% written. The written section of the test will be based on vocabulary and grammar points covered in the class.
体育	各種のスポーツを体験しながらそれぞれのスポーツの楽しさを実感する。また、スポーツテスト等を行なうことによって自分の体力を自覚し、スポーツの必要性を理解するとともに生涯スポーツの基礎を構築する。また、決めら	各学期に実技のテストを行います。 実技テスト 70% 平常点 30% で評価します。

	れたルールを守り、お互いを尊重しあい、練習やゲームができるようにする。	平常点は ・出席状況 ・授業への参加態度 ・服装等で評価します。
総合的な学習の時間（宗教）	3年1組に同じ	3年1組に同じ

3年4組、5組

科目	内容	評価の仕方
現代文	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書する態度を育てる。論理的な文章や文学的な文章を正確に読み取りながら、主題やテーマについて意見や感想をまとめ、述べられるようにする。また、基礎的な語句の習熟を図る。	学期評価：中間テスト4割、 期末テスト4割、平常点2割 学年評価：学期評価を総計して3で割ったもの（各学期の平均）
古典	古典文学を深く学ぶことで、日本の歴史・文化を考えさせ、日本人としての豊かな感性を磨き、生涯にわたり古典を愛好する心情を育てる。	学期評価：中間テスト4割、 期末テスト4割、平常点2割 学年評価：学期評価を総計して3で割ったもの（各学期の平均）
国語演習（選択C）	特定の文章や作品、文種や形態などについて、まとまりのあるもの（ある程度の分量のもの）を中心に取り上げるようにする。入試問題に対応する読解力を身につけさせる。	平常点2割、定期試験8割 平常点は豆テストや提出物、授業態度から算出
世界史A	3年2組に同じ	3年2組に同じ
日本史A	3年1組に同じ	3年1組に同じ
世界史B	3年1組に同じ	3年1組に同じ
日本史B	3年2組に同じ	3年2組に同じ
倫理	3年1組に同じ	3年1組に同じ
倫理演習	○倫理の基礎を履修している生徒に対し、国内外の現代社会に関する興味関心を持たせ、基本的な知識を学ばせる。 ○また、自然や科学技術と人間のかかわり、社会参加と奉仕などについて倫理的な見方や考え方を養い、現在話題になっている時事問題などについて、高校生として理解したことを表現する力をつける。	1. 単元ごとの小テスト。 2. テーマごとに、要約、感想などをまとめ提出する事により、評価する。
数学ⅠA 演習（選択D）	頻出問題に取り組むことにより、基本的な事柄をひとつひとつ確実に把握していく。	定期テスト8割、その他小テストや課題提出など2割。

	問題演習を通して大学入試に対応できる学力を身につける。	
数学ⅡB 演習 (選択 C)	頻出問題に取り組むことにより、基本的な事柄をひとつひとつ確実に把握していく。 問題演習を通して大学入試に対応できる学力を身につける。	定期テスト 8 割、その他小テストや課題提出など 2 割。
化学Ⅰ (選択 F)	すでに履修した「化学Ⅰ」の理解を深め、問題演習を通して大学受験への実践力・応用力を養う。	中間考査と期末考査 8 割、実力テスト・出席その他 2 割
生物Ⅰ (選択 F)	すでに履修した「生物Ⅰ」の理解を深め、問題演習を通して大学受験への実践力・応用力を養う。	中間考査と期末考査 8 割、小テスト・毎日の課題・その他 2 割
化学Ⅱ (選択 E)	基本的な概念や原理・理解を深め、科学的な自然観を育成する。実験などを行い事物・現象の観察をととして自然に関する関心や探求心を深め、科学的な自然観育成する	中間テスト 4 割、期末テスト 4 割、小テスト 1 割、ノート 1 割
生物Ⅱ (選択 E)	すでに「生物Ⅰ」で学習した生物の基本的な概念や原理の理解を深め、より専門的な生物学を学習する。 生物や生命活動についての観察、実験などを行い、事物・現象の観察をととして自然に関する関心や探究心を深め、科学的な自然観を育成する。	中間考査と期末考査 8 割、小テスト・その他 2 割
リーディング	英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解する能力をさらに伸ばすとともに、この能力を通じて積極的にコミュニケーションの態度を図ろうとする態度を育てる。 生徒の知的水準および興味や関心にできるだけ合致し楽しみながら思考を促し、国際的視野を養えるようにする。大学入試の長文読解問題に慣れ、高いレベルの読解能力を向上させる。英文法の演習問題に取り組むことで、入試でよく出る語彙、文法、構文の定着を図る。	学期評価 中間テスト 4 割 期末テスト 4 割 平常点 2 割 学年評価 学期評価を総計して 3 で割ったもの。(各学期の平均) *平常点…小テスト、単語テスト、授業内での発表、提出物等
英語演習 (選択 E)	センター試験を視野に入れた演習授業です。決められた時間の中で内容を読み解く訓練や、入試でよく出る語彙、文法、構文の定着を図ります。またセンター試験の大問の特徴なども把握しながら、センター試験の形式に	① 中間テスト 3 割 ② 期末テスト 4 割 ③ *平常点 3 割 *平常点は小テスト、提出物

	なれることを目標にしています。	等で評価
オーラル I		
音楽Ⅲ（選択 D）	自分や演奏を聴いてくれる人たちにとっての音楽の役割について考えながら演奏訪問や発表会などの機会を持つことにより、自分にできる表現の可能性を知りながら生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。	期末試験 3 割 実技試験 4 割 平常点 3 割（授業態度・提出物・豆テストで算出）
美術Ⅱ（選択 D）	美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、美術文化についての理解を深め、個性豊かな美術の能力を高める。	作品および平常点（持参物、作品の提出締め切り等）、定期試験の成績を総合的に評価する。（作品・平常点を 75%、定期試験を 25%）
フードデザイン（選択 F）	栄養素、食品、献立、調理、テーブルコーディネートに関する知識と技術を習得させ、食事を総合的にデザインする能力と態度をそだてる。また、食をグローバルな視点(環境、食糧配分、経済)から考えさせ、食生活の問題を現状から解決していこうとする意欲を持たせる。	学期評価：調理実習(身支度、爪、予習)実習ノート、宿題、出席 6 割 期末テスト 4 割 学年評価：1，2 学期の評価と 3 学期の平常（2～3 割）を総計して割ったもの。
体育	各種のスポーツを体験しながらそれぞれのスポーツの楽しさを実感する。また、スポーツテスト等を行なうことによって自分の体力を自覚し、スポーツの必要性を理解するとともに生涯スポーツの基礎を構築する。また、決められたルールを守り、お互いを尊重しあい、練習やゲームができるようにする。	各学期に実技のテストを行ないます。 実技テスト 70% 平常点 30% で評価します。 平常点は ・出席状況 ・授業への参加態度 ・服装等で評価します。
コンピュータ（選択 C）	- ワープロや表計算等のアプリケーションソフトによる一般文書などが作成でき、情報モラル、セキュリティ等を含む初級レベルのパソコン一般知識の獲得を目指す。また、インターネットや電子メールを利用でき、一般的な企業の入社時に最低限必要とされる総合的な IT 利活用スキルの獲得を目指す。 - 日常生活に役に立つインターネット上のサービスを利用し、サービスを利用できることの恩恵を実感し、情報格差についての理解を深める。	学期評価:期末テスト 6 割。平常点 4 割。 学年評価:学期評価を総計して 3 で割ったもの。 平常点: ・授業課題の提出と課題成果のプレゼンテーション ・授業態度

総合的な学習 の時間（宗教）	3年1組に同じ	3年1組に同じ
-------------------	---------	---------